われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

平成21年度県連盟諸会計決算
今後の英霊顕彰並びに
処遇改善運動を審議

理事・評議員監事合同会議

県遺族連盟では六月二十日(日)、岡山市中区奥市の「いさお会館」会議室において理事・評議員・監事合同会議を開催し、平成二十一年度県遺族連盟事業実施報告及び平成二十一年度同諸会計決算を審議すると共に、靖國神社問題をはじめとする英霊顕彰問題並びに遺族処遇改善の今後の運動方法等について協議を行った。

合同会議は定刻の午後一時三十分に開会。服部副会長が開会を宣した後、ご英霊に黙祷を捧げた。

次いで岸本会長が挨拶を行った。岸本会長は、「未来永劫の社頭護持を目標に、昨年来より運動を進めて参りました岡山県護國神社御創立百四十年記念事業は、会員の皆様方から多額のご浄財をいただき、新しい〝いさお会館〟が完成いたしました。ここで合同会議ができますことは誠に喜ばしいかぎりで皆様方に改めてお礼申し上げます。

バリアフリー化など、まだ一部の整備が残っておりますが、引き続いて取り掛かって行きたいと存じますので、何卒ご理解を賜ります様お願いいたします。今後は神社とも協議しまして、一般の方々にも大勢参拝していただく様、色々な企画を考えて行きたいと思います。

政権が交代して八カ月、そして鳩山政権からの菅政権になりましたが、頭を代えただけで中身は何も変わっておりません。遺族会は自民党支援を決定し、堅い決意で今日までやって参りました。私共の代表であります〝水おち敏栄候補〟を再度国政に送るべく引き続いてのご支援をよろしくお願いいたします」と挨拶を行った。

「新いさお会館」会議室で行われた理事・評議員・監事合同会議（H22.6.20）

次いで岸本会長が議長に就任し、議事の審議に入った。

先ず「平成二十一年度県遺族連盟事業実施報告」について事務局が報告・説明を行い、続いて第一議案「英霊顕彰並びに処遇改善運動の経緯・今後の運動」を上程。別掲（一～二ページ）のとおり、経緯並びに今後の運動方法が報告され了承された。

続いて、第二議案「平成二十一年度県遺族連盟一般会計・事業会計等決算」を上程、一般会計並びに事業会計、収支計算書の詳細を事務局が説明し何れも承認された。

次いで第三議案「岡山県護國神社御創立百四十年記念事業」を上程。①昨年三月の奉賛会設立から本年五月の「いさお会館」並びに「参拝者待機所・回廊」の竣功報告式典までの経緯、②各遺族会会員への奉賛協力に対するお礼状の配布、③奉賛金納入状況及び記念事業奉賛会への奉賛金納入などが報告され了承された。

そして、報告事項として今後の行事予定を事務局が説明、平田晶三副会長が閉会の言葉を述べ、午後三時十分、合同会議を終了した。

英霊顕彰並びに処遇改善運動の経過・今後の運動について

◎英霊顕彰運動

1．経過について
平成22年３月28日に開催した理事・評議員・監事合同会議以後の経過の概要は次のとおり。

⑴　内閣総理大臣等の靖國神社参拝

①　靖國神社の春季例大祭期間中の４月22日朝、超党派国会議員でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」の衆参国会議員115人（本人59人、代理56人）がそろって参拝され、自由民主党・谷垣総裁も一緒に参拝を行った。なお、岡山県選出国会議員は４人（本人３人、代理１人）が参拝された。
また、大祭期間中、鳩山総理をはじめ閣僚の参拝はなかった。
参拝された衆参国会議員の内訳は次のとおり。

党派	本人	代理	計
自民党	35	51	86
民主党	13	3	16
国民新党	2	1	3
改革クラブ	2	0	2
たちあがれ日本	3	0	3
みんなの党	1	0	1
無所属	3	1	4
計	59	56	115

（昨年は192人）

皇居内濠を望む静かな九段
ご婚礼／宴集会／ご宿泊／お食事／大ホール

※ご遺族様には、特別割引がございます。
●シングル……￥7,140～
●ツイン……￥12,600～
（税込）
URL http://www.kudankaikan.or.jp
九段会館
〒102-0074　東京都千代田区九段南1-6-5
☎03(3261)5521
●地下鉄　東西線・新宿線・半蔵門線（九段下駅）徒歩１分
●JR東京駅より（車）５分

⑶　岡山県戦没者遺族代表者大会は、平成23年度政府予算編成前の11月28日㈰午前10時30分から、岡山衛生会館で開催予定。
　また、全国戦没者遺族大会は12月16日㈭に九段会館ホールで開催予定である。

平成23年度政府予算に対する遺族処遇改善要望事項

要望事項の大綱

1．公務扶助料・遺族年金等の改善
2．戦没者遺児の慰霊友好親善事業の充実
3．戦没者遺骨収集事業の充実強化
4．全国戦没者追悼式への国費参列者の対象範囲の拡大

1．公務扶助料、遺族年金等の改善

　尊い一命を国家に捧げた戦没者の遺族に対する公務扶助料等は、他の公的年金とは性格を異にするもので、あくまでも国家補償の理念に基づき改定されるべきである。
　また、戦没者遺族の今日までの歩みに配慮し、高齢化著しい実情等を考慮され、公務扶助料等を増額改定されたい。
　なお、特例扶助料等の支給率拡大については、より一層の配慮をお願いしたい。

2．戦没者遺児の慰霊友好親善事業の充実

　戦没者遺児であれば、誰もが「一度でいいから父親等の戦没地に立たせてほしい、そして、心行くまで慰霊追悼をさせてほしい」と願っている。こうした戦没者遺児の長年の念願が認められ、平成３年から本会が国より委託された事業であり、戦没者遺児の慰藉事業である。
　この間、参加希望者も多く、20年間で参加者は１万人を超えたが、全国の戦没者遺児100万人に対しては未だ１パーセントにすぎない。
　戦後65年、遺児といえども高齢化が進んでいる。ついては、事業内容等について見直すとともに、一層の拡充をお願いいたしたい。

3．戦没者遺骨収集事業等の拡充強化

　戦没者の遺骨収集及び戦跡慰霊巡拝の事業については、遺族等の心情に十分配意され、更に積極的に推進すると共に、海外未送還遺骨の集中的な情報収集及び民間建立慰霊碑等整理事業についても、国として引き続き推進するようお願いしたい。

4．全国戦没者追悼式への国費参列者の増員並びに支給範囲の拡大

　全国戦没者追悼式の趣旨に鑑み、国費で負担する遺族代表の対象範囲を戦没者の曾孫、甥、姪まで拡大していただきたい。
　また、戦没者の子・兄弟姉妹の配偶者については、ただし書き（ただし、夫婦で参列の場合に限る）を撤廃していただきたい。

改　善　項　目

（法律改正等をお願いしたい事項）

1．特別給付金関係

　戦没者等の妻に対する特別給付金は昭和38年分より、戦没者の父母等に対する特別給付金は昭和42年分より受給し、その償還が終了した時点において継続された特別給付金を請求することとなっているが、遺族の高齢化を考慮して以前の分と併給されるよう措置されたい。

2．特別弔慰金関係

⑴　公務扶助料等受給者が失権した場合、速やかに特別弔慰金が支給されるなど制度を改正されたい。
⑵　戦没者と一年以上の生計関係を有した三親等内親族の受給要件を緩和されたい。（生計関係を受給要件としない）
⑶　特別弔慰金の請求手続きを簡素化すると共に、裁定事務を促進されたい。

②　５月５、６日の岡山県戦没者春季慰霊行事へ参列された各界の方々は次のとおり。（順不同・敬称略）
　○岡山県副知事　古谷博通
　○岡山県議会議長　小田春人
　○国会議員
　　逢沢一郎、村田吉隆（代理）、加藤勝信（代理）
　　阿部俊子（代理）、平沼赳夫（代理）、津村啓介
　　柚木道義、高井崇志（代理）、姫井由美子（代理）
　　橋本岳（前／代理）、片山虎之助（前／夫人）
　○日本遺族会
　　古賀誠、水落敏栄
　○岡山県議会議員
　　戸室敦雄、千田博通、古山泰生、岡﨑豊、河本勉
　　渡辺英気、小田圭一、伊藤文夫、佐藤真治
　　久徳大輔、波多洋治、神宝謙一、蜂谷弘美
　　小倉弘行、浅野實、渡辺吉幸、小林健伸、太田正孝
　　江本公一、中塚周一
　○岡山県町村会副会長　佐藤友彦（早島町）
　○市町村長　山野通彦（矢掛町）
　○市町村議会議員
　　松島重綱（岡山市）、和気健（岡山市）、松本義隆（津山市）
　○岡山県神社庁庁長　笹井和男
③　６月２日、鳩山総理が退陣を表明。同８日夜、民主、国民新両党連立の菅内閣が発足した。
　菅総理は６月15日の参議院本会議での代表質問（自民党・佐藤議員への答弁）において、「Ａ級戦犯が合祀されている靖國神社への首相や閣僚の公式参拝は問題があると考えている」と述べ、首相在任中は靖國神社に参拝しない考えを示した。

2．今後の運動について

⑴　内閣総理大臣等の靖國神社参拝

①　「内閣総理大臣等の靖國神社参拝の継続・定着を図るためのメール、ファックス、ハガキによる陳情」及び「地元選出国会議員への靖國問題等への理解と協力を求める要請」については、鳩山政権（当時）が不透明であることなどにより、日本遺族会では各支部への協力依頼を見合わせていたが、４月27日に開催した日本遺族会常務理事会で、双方とも例年どおり実施することに決定。
②　６月15日の参議院本会議で、菅総理は「総理在任中は靖國神社に参拝しない」との考えを示したが、日本遺族会の方針並びに県遺族連盟事業計画に基づき、各支部遺族会及び会員による「内閣総理大臣等の靖國神社参拝の継続・定着を図るためのメール、ファックス、ハガキによる陳情」を実施する。
　追って、各支部遺族連合会宛に陳情依頼の文書を発送することとする。

⑵　国立の追悼施設建設
　平成22年度政府予算に建設のための調査費は計上されなかったが、今後、建設に向けて動き出すことも考えられることから、引き続き政府の動向を注視し、建設に向けた動きがあれば実力行使も辞さぬ覚悟で阻止する。

⑶　その他、平成22年度県遺族連盟事業計画に基づき推進する。

◎処遇改善運動

1．経過について

　平成22年３月28日に開催した理事・評議員・監事合同会議以後の経過の概要は次のとおりである。

⑴　平成22年度政府予算は、３月２日の衆議院本会議で可決され参議院に送付、参議院は３月24日の参議院本会議において可決、成立した。

2．今後の運動について

⑴　平成22年度県遺族連盟事業計画に基づき推進する。
⑵　平成23年度政府予算に対する遺族要望事項は、５月27日に開催された日本遺族会理事・評議員合同会議において審議され、別掲のとおり決定した。

戦没者遺児による慰霊友好親善事業
二十周年記念「洋上慰霊」参加者募集

日本遺族会が政府の委託・補助を受け平成三年度より実施している戦没者遺児による慰霊友好親善事業は、本年度事業実施二十周年を迎えました。

この節目の年を迎え、日本遺族会では二十周年記念事業として通常実施することが困難な海域の洋上慰霊を計画、海没されたご英霊の慰霊追悼を行うと共に現地の人々との友好親善を図ることとなりました。

該当海域の戦没者の遺児の皆様には、是非この機会にご参加をいただきます様ご案内申し上げます。実施計画概要は次のとおりです。

▼実施時期
平成二十三年三月五日(土)～十六日(水)十二日間

▼日程案等（予定）
別掲の日程案及び航路図案参照。
①洋上慰霊祭　八回
②上陸地
＊沖縄県・摩文仁、米須等の各県慰霊碑参拝
＊フィリピン・カリラヤにて戦没者追悼式
③寄港地
＊台湾・高雄

▼船の概要
国際遠洋級／約二万トン級（日本国籍船）

▼参加資格
戦没者の遺児（但し、長期間の航海・旅程に耐えられる健康状態が良好な方）で次の優先順位とします。
①航海上の該当者で初参加の方。
②同上の方で過去に参加した方。
③高齢者
注）定員に満たない場合は別の海域の方についても認めることとします。

▼参加費　八万円。
但し、為替レートの状況により増額することもあります。

▼募集定員
岡山県から原則十名以内、合計（全国）約四百名。

▼申込締切
第一期　9月15日
第二期　11月15日
最終締切　12月5日

▼参加決定
申込最終締切後、本部で審査を行い参加者に決定通知を送付します。
※参加決定者には誓約書及び除籍謄本、医師の診断書等の提出をしていただきます。

▼その他
＊集合場所（神戸港）において結団式及び渡航手続き・説明会を行います。
＊集合場所及び解散場所からの交通機関等は各自で手配し、経費は参加者負担となります。
＊実施時期・日程等は相手国の事情や船舶借り上げ等の都合により変更や取り止めとなる場合がありますので、予めご承知おき願います。
＊事業の詳細についてのお問い合わせは日本遺族会福祉事業部事業課（☎〇三－三二六一－五五二一）まで。

▼お申込み先
岡山県遺族連盟まで

日次	月　日	発着地等	日　程
1	3月5日(土)	神戸（日本）	午後：船内にて受付後、出港結団式及び渡航手続き説明会
2	3月6日(日)	終日航海	枕崎沖、大和沈没地点経由 ①東シナ海洋上慰霊祭
3	3月7日(月)	那覇（日本）	午前：沖縄・那覇港入港 上陸後、米須・摩文仁等へ各県の慰霊碑参拝 夕刻：出港
4	3月8日(火)	終日航海	②沖縄、高雄間洋上慰霊祭
5	3月9日(水)	高雄（台湾）	午前：台湾・高雄入港 午後：出港 ③バシー海峡洋上慰霊祭
6	3月10日(木)	終日航海	④ルソン沖洋上慰霊祭
7	3月11日(金)	マニラ（フィリピン）	午前：フィリピン・マニラ入港上陸後、カリラヤにて慰霊祭 夕刻：船内にて友好親善懇談会 夜：出港
8	3月12日(土)	終日航海	⑤レイテ沖洋上慰霊祭
9	3月13日(日)	終日航海	⑥マリアナ沖方面洋上慰霊祭
10	3月14日(月)	終日航海	⑦硫黄島近海洋上慰霊祭
11	3月15日(火)	終日航海	⑧小笠原諸島近海洋上慰霊祭 夕刻：船内にて懇親会
12	3月16日(水)	神戸（日本）	午後：解団式 夕刻：入港、解散

岡山県護國神社御創立140年記念事業ご奉賛のお礼

拝啓　ご遺族の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、ご英霊鎮まる岡山県護國神社の未来永劫の護持を大目標に掲げ、昨年３月の奉賛会設立以来、境内整備を進めていました御創立百四十年記念事業は、事業の柱であります「いさお会館」並びに「参拝者待機所・回廊」が本年４月23日に無事完成し、去る５月５日、古賀誠日本遺族会会長及び水落敏栄常任顧問らご来賓多数のご臨席を仰ぎ、竣功奉告の式典が執り行われました。

岡山県遺族連盟では、昨年６月の総会において記念事業に対する奉賛協力を決定し、県下ご遺族皆様方に記念事業への理解と協力をお願い申し上げたところですが、多くの皆様方から絶大なるご賛同をいただき、お陰をもちまして遺族会の募金目標額である一億円を超える浄財をお寄せいただきました。

戦後65年、国民の八割近くが戦後生まれという時代にあって、戦没者ご英霊の慰霊顕彰に対する意識の希薄化が進んでいますが、私たちはこの事業を契機として、国の大事に一身を捧げられた戦没者ご英霊をお祀りする護國神社への県民意識の向上を図り、ご英霊の心を次の世代に引き継ぐべく更なる努力を払わなければなりません。

この度の事業へのご遺族皆様方からの温かいご厚志、そして、ご尽力を賜りました役員の皆様に心から感謝申し上げますと共に、今日の平和の礎となられた戦没者ご英霊の勲にお応えできる様、引き続いてのご支援ご協力をお願い申し上げ、書中ではございますがお礼のご挨拶とさせていただきます。　　敬　具

平成22年６月吉日

財団法人 岡山県遺族連盟　　会長　岸本　清美

◎引き続き平成24年３月末まで記念事業へのご奉賛を受け付けています。お申し込みは岡山県護國神社社務所（☎086－272－3017）まで。

岡山県護國神社 萬燈みたま祭「献灯」ご案内

岡山県護國神社では、毎年八月十五・十六日の両日にわたり皆様からご奉納いただいた提灯を境内に掲げ、夏の「みたま祭」を執り行っております。

国のため尊い命を捧げられた五万六千七百余柱の御霊安らかれと、御遺族・崇敬会・戦友の皆様を始め、多くの方々から御奉納いただいた萬燈の「みあかし」は、奉納書画の掛行燈と共に夜の境内を美しく彩ります。

▼日　時
八月十五日(日)・十六日(月)　午後七時より
＊点燈は十四日の日没より行います。
＊十六日は祭典に続いて岡山市連合婦人会の盆踊りが行われます。皆様も是非ご参加下さい。

▼堤灯献燈料　一燈につき　二、〇〇〇円

▼お申し込みは
〒七〇三－八二七二
岡山市中区奥市三－二一「岡山県護國神社」まで
電話　〇八六－二七二－三〇一七
ファックス　〇八六－二七二－三〇一六
＊郵便振替にてお申し込みの場合は
郵便振替番号　岡山〇一二九〇－三－三〇一七
岡山県護國神社
（通信欄に〝萬燈みたま祭〟とご記入下さい）

お詫び

業務多端のため、本紙の発行が大幅に遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

編集者

遺族会の動き

五月行事追加分

16日　総社市遺族連合会役員総会（総社市総合福祉C）

平成二十二年六月行事表

2日　小田郡矢掛町戦没者追悼式（矢掛町農村環境改善C）
4日　久米郡久米南町戦没者慰霊祭（県護國神社）
5日　久米郡美咲町旭地区戦没者慰霊祭（旭英霊社）
6日　玉野市遺族連合会定期総会（玉野総合福祉C）
7日　真庭市遺族連合会総会（勝山保健福祉C）
9日　高梁市高倉地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
10日　加賀郡吉備中央町遺族会総会（いきがい支援C）
11日　県護國神社総代・大総代合同会議（いさお会館）
14日　県連盟監査会（県連盟事務所）
18日　県連盟正副会長・常任理事合同会議（県連盟会議室）
20日　新見市美穀地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
24日　和気郡遺族連合会役員総会（和気シルバー人材C）
25日　県連盟理事・評議員・監事合同会議（いさお会館）
27日　新見市菅生地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
29日　参議院議員選挙公示
浅口市鴨方町遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
真庭市勝山地区戦没者慰霊祭（化生寺・忠魂碑前）
岡山市戦没者追悼式（岡山市民会館）
久米郡美咲町遺族会役員総会（中央ふれあいC）

平成二十二年七月行事表

2日　津山市加茂支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
3日　県連盟正副会長・常任理事・市郡遺族連合会女性部長合同会議（いさお会館）
5日　津山市久米支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
11日　参議院議員選挙投票
14日　備前市戦没者追悼式（備前市民C）
赤磐市戦没者追悼式（山陽ふれあい公園フィットネス・アリーナ）
15日　戦没者遺族慰霊研修事業（九段会館）一泊
16日　日遺女性部幹事会（九段会館）
22日

平成二十二年八月行事表

15日　戦没者を追悼し平和を祈念する日
全国戦没者慰霊大祭（靖國神社）
全国戦没者追悼式（東京・日本武道館）
終戦の証書奉戴日本興隆祈願祭（県護國神社）16日まで
萬燈みたま祭（県護國神社）